

## 「環境技術」執筆要領（全論文共通）

（2023年4月改定）

「環境技術」への掲載記事は、査読付論文と一般論文の2種類あります。これは、すべての原稿に共通の説明です。査読付論文の詳細については、「査読付論文投稿規定」を参照ください。

### 1. 投稿資格

査読付論文である〔研究論文〕〔技術論文〕〔研究ノート〕〔報告〕は、第一著者が本学会会員（名誉会員を除く）である。その他の論文については、執筆者の中に本学会会員を含むこととする。但しいずれの原稿も採否は、編集委員会がこれを決定する。

### 2. 記事の種類（投稿・依頼原稿のすべてについて）

No.	種類	内容	査読	ページ (本誌面)	掲載料
1	研究論文	独創的で完成度が高い研究内容を含む論文	2名	7	必須
2	技術論文	開発技術や実験手法、調査手法、分析手法等において、技術面での新規性ないしは完成度が高い内容を含む論文	2名	7	必須
3	研究ノート	断片的であるが論文に近い新規性がある内容を含む短報・速報	2名	5	必須
4	報告	実際的な実験や開発技術、調査、分析等の成果報告（有用なデータや情報を含む）	1名	6	必須
5	総説	研究、技術を総合的にまとめ、識見に富んだ著作物	無	5	
6	論説	提案・意見	無	5	
7	解説	個別の分野についての情報のまとめ	無	5	
8	海外情報	海外の環境技術関連情報	無	5	
9	講座	数回にわたるシリーズ	無	5	

論文（原稿）の種類は、上表の他に、〔行事（会議）報告〕〔書評〕〔ずいろん〕等、各種コラムがあるが、いずれも誌面1,2ページとする。また、広告記事に準ずる〔技術資料〕〔商品ニュース〕等がある。

### 3. 「環境技術」誌原稿の書き方・体裁など（但し、(3)以下は、全論文共通）

(1)原稿の提出について：ウェブサイトより書式をダウンロードして利用できます。

(2)上記「論文種類」のNo.5～7については、「タイトル」の他に「キーワード」が必要。

タイトル（和文・英文）は30字以内。キーワード（和文）は5個以内。

(3)文章：簡潔平明で、他分野の読者にも理解しやすい文体を心がける。

項目の分類は、次の例による。

（例） 項1. …… 目1.1…… 細目1.1.1…… (1)……

(4)文字（原則として、明朝体）

a. 原則として当用漢字、平仮名（現代かなづかい）、アラビア数字（数量を表す）を用いる。

b. ローマ字、ギリシャ文字は誤植のないよう正しく書く。大文字、小文字の区別がわかりにくいものは、その別を明らかにしローマ字とギリシャ文字の別を明らかにする。単位は、SI単位を原則とする。

(5)数式：数式は、式(1)、式(2)……とし、重要なものだけを数学的約束に従い、簡単な形で、正確な表現で書く。

(6)図・表：図表や写真の点数は必要最小限とする。減らすようお願いする場合もある。

a. 図表のキャプション・文字は日本語、明朝体とする。査読論文は、和英どちらも可。

b. キャプションを付す。説明（最大100字）など図表中の文字は明朝体とする。

c. 同一内容の図と表がある場合は、どちらか一方で表示する。

d. 図表はモノクロで判別できること。背景色を無色とする。

- e. 図の日盛線の間隔は、できるだけ簡潔にする。
- f. 写真はモノクロとし、解像度が高く鮮明であること。
- g. 図・表・写真の説明は、次のようにする。

(例) 図 1 …… 表 1 …… 写真 1 ……

※書体はゴシック体。

(7)参考文献は下記の書式に従う。

a. 論文の場合……

著者名；論文名，掲載誌名，巻数，(号数)，p. 初めのページ-終わりのページ，発行年。

(例) 藤川陽子；大阪-京都の地下水の水質問題と処理方策-色度，アンモニア等，環境技術，46, (5), p.26-33, 2017.

※巻 (Vol.) 数はゴシック体。号 (No.) 数は ( ) で囲む。

b. 図書の場合……

著者名；図書名，出版社名，総ページ数 p., 発行年。

(例) 金子光美；水道の来し方行く末，環境技術学会，160p., 2009.

※総ページは，ページ数の後に「p.」を入れる。

c. ウェブサイトの場合……

著者名；“ウェブページの題名”，ウェブサイトの名称，入手先，(参照日付)。

※入手先は，該当ページの URL を記入する。

(例) 大塚泰介；“R による珪藻群集の分析”，環境技術学会，<http://www.jriet.net/magazine/2017/diatomanalysis.html>，(参照 2017-11-01)。

#### 4. カラー印刷

カラー印刷費用を自己負担して，カラー印刷にすることができる。

#### 5. 著作権

著作権は本学会に帰属し，著作者が利用する場合，第一著者から事前に本会へ許可申請を行う。第三者からの複製，転載許諾申請に対し，公益的利用については，学会が許諾することがある。

また，本会は，複製権 (PDF) と公衆送信権 (ウェブ公開) の使用についても許諾権を有するものとする。

#### 6. 別刷り料金 (査読付論文以外。消費税は外税)

本文ページ数	25 部	50 部	100 部
6 ページまで	16,500 円	22,000 円	26,400 円

(注意)

- ・7 ページ以上の場合，編集室に問い合わせてください。
- ・査読付論文の掲載料については，「査読付論文投稿規定」を参照。
- ・特集部分をまとめる，連載をまとめるなどのスタイルで別刷り作成もできます。